

学びのススメ

3年生の作文指導を通して



新年あけましておめでとうございます。今年も「学びのススメ」をよろしくお願い致します。

さて、年が明け、いよいよ入試本番となりました。本日の、学石A日程を皮切りに、今後、私立、県立Ⅰ期と入試が続いていきます。

そんな中、冬休み中から私立、県立Ⅰ期対策として、作文指導を行ってきていますが、「なかなか思うように書けない」というのが現状です。

学校によって違いはありますが、400字～800字の作文を50分程度で書くようになります。時間内に規定の字数を書くことはできるかもしれませんが、肝心なのは「内容」です。「内容」が納得いくまで書いてもらっていますが、書き直しの視点としては以下のようなものが挙げられます。

- 課題の出題意図がしっかりと押さえられていない。
 - 何を問われているのか、何を答えればよいのかをしっかりと理解しなければなりません。ここを外してしまうと、出題の意図から外れた作文となってしまいます。
ex「ルールは何のためにあるのか」
 - ×「ルールは日常生活を送る上で必要です。」
 - 「ルールは△△のためにあると思います。」
- 首尾が一貫していない。
 - たとえば、三部構成で書く場合、序論で述べたことと、結論の内容が合わない…こんなケースが見られます。自分の主張に一貫性を持たせることが大切です。
- 断言して大丈夫？
 - はっきりとした事実がない、または分からない場合、自分の思い込み等を断言して大丈夫なのかどうか、見つめ直す必要があります。
ex ×「ルールがなかったら、～～になります。」
 - 「ルールがなかったら、～～になるかもしれません。」

起→承→転→結



その他、誤字脱字や文法上のミスも気になる人が多くいます。もっと気になるのは漢字を使わない人です。中学3年生として、これまで身に付けてきた漢字は使うべきです。

今後も指導を継続していきますが、特に県立Ⅰ期を受験する人は5教科の筆記試験の代わりに「作文」「面接」で評価されるのです。これらに重きが置かれることは容易にわかると思います。

「書く」力は、一朝一夕につくものではありません。国語の授業においても、「書く」ことには力を入れていますが、上に挙げたようなことを常に意識して「書く」活動に当たってください。3年生だけでなく、1・2年生にも言えることですよ！